

2014年2月9日(日)

【参加者募集!!】 プロフェッショナルの英語作法 発表後の懇親会で孤立したあなたのために……

英語使用の頻度や重要性は、研究はもちろんのこと、教育や大学実務においても高まっています。しかし、それぞれの場で適切な英語表現について、これまでの学習環境では必ずしも十分に修得することができていないように思われます。そこで、研究者としてキャリア形成するために望ましい、**研究・教育等のための実践的英語表現**を学習し、模擬演習を行うワークショップを企画・開催します。ぜひご参加下さい。

■日時・プログラム (プログラム詳細 [次ページ](#))

- (1) 2014年2月24日(月) 14:30-16:30頃
学術会議に参加する
- (2) 2014年2月26日(水) 14:30-16:30頃
大学で講義・演習を行う

■参加資格

- (1)KUASU 研究員 (2)京都大学構成員 (3)その他

■事前の準備

過去に使用した学会プログラム、シラバスなどあればお持ち下さい。

■WSの進行

講師からの基本的なレクチャーと出席者の実践練習を組み合わせで進行します。

■会場

KUASU 研究会室 (予定)
京都大学文学部東館 2F

■講師

乙部延剛

立命館大学政策科学部助教

Johns Hopkins University 院修了 (Ph.D. in Political Science)

林 樹

京都大学アジア研究教育ユニット研究員

University of Hawaii at Manoa 院終了 (Ph.D. in Philosophy)

お問い合わせ、お申し込み先

城下 賢一

京都大学 KUASU 研究員

johshita.kenichi.3m@kyoto-u.ac.jp

プログラム詳細

プロフェッショナルの英語作法
発表後の懇親会で孤立したあなたのために……

(1) 2014年2月24日 14:30-16:30頃

学術会議に参加する

- ① 日本人にとっての英語（総説） 乙部
- ② 日英のチェアの流儀に関する意見交換 自由議論
- ③ 実践練習
 - A) Opening（シンプル／趣旨説明／ゲストレクチャー）
 - B) 報告者入れ替え
 - C) ディスカッションのモデレート
 - D) クロージング
 - E) 前回の反省点（チェアのリーダーシップ）

(2) 2014年2月26日 14:30-16:30頃

大学で講義・演習を行う

- ① 英語圏での講義・演習と日本での実践の差異 乙部
- ② 講義・演習経験の共有 自由議論